第４章　ビジネスと売買取引

（内容の範囲や程度）

流通活動における売買取引、代金決済の仕組み及び売買計算の方法の基礎的・基本的な内容について理解させること。なお、２については、割合、数量と代価、仕入原価と売価の計算及び度量衡・外国貨幣の換算を扱うこと。

1　売買取引と代金決済

指導目標　売買契約の意義、売買契約の条件、売買契約の締結と履行、さらに代金の決済など売買取引に関する基礎的な内容について理解させる。その際、電子商取引、電子マネーについても理解させる。

指導内容	指導上の留意事項	参考資料・事例
1　売買取引の手順	・売買契約の締結と履行の流れとをしっかりと押さえる。	・簡単な模擬取引を示し、見積書・注文書等の帳票を実際に書かせてみる。
2　代金決済の方法	・「簿記」で習う仕訳と関連づけて指導する。	・日本銀行・銀行協会のＨＰを検索してみる。 ・小切手と手形を実際に書かせてみる。
3　電子商取引	・電子商取引のしくみについて理解させるとともに、その危険性についても触れる。 ・起業家精神の育成に努める。 ・ＩＣ型電子マネーとネットワーク型電子マネーのしくみについて理解させる。	・外部講師による講演。 ・電子商取引を行う商品を考え、各自でインターネットによる商品注文票を作成させる。 ・成功談を紹介する。（各企業のＨＰ上にある社史など）

評価の観点		
	関心・意欲・態度	・売買取引の手順や代金決済の方法及び電子商取引に関心を持ち、自ら進んで実習に取り組んでいるか。
	思考・判断	・売買取引の手順や代金決済の方法及び電子商取引について、様々な角度から主体的かつ客観的に考察するとともに、これらの諸問題を見つけようとしているか。
	技能・表現	・売買取引の手順や代金決済の方法及び電子商取引に関する資料を適切に選択して活用し、その過程や結果を適当な手段を用いて発表できるか。
	知識・理解	・売買取引の手順や代金決済の方法及び電子商取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、日常生活に活用できるか。

2　売買に関する計算

指導目標　分数、小数、百分率、割合などの表示方法と計算、商品の数量と代価の計算、仕入原価と売価の計算、利益率の計算、売買に必要な度量衡、外国貨幣の計算及び換算について理解させる。なお、計算は演習問題等で慣れさせる程度とし、用具は適切なものを使用させる。

指　導　内　容	指導上の留意事項	参　考　資　料　・　事　例
1　割合	・同じ割合でも表現方法が色々あることを理解させる。 　また、その換算についても理解させる。 ・割増し、割引について理解が難しい生徒に対して配慮する。	珠算・電卓実務検定試験（名称変更あり）問題集
2　数量と代価	・基準量と比較量の計算であることに気付かせる。	
3　仕入原価と売価（販売価格）	・割増し・割引の計算であることに気付かせる。 ・消費税は割増し計算であることを確認する。	・小売店の広告を利用して実販売価格を計算させる。
4　度量衡と外国貨幣	・メートル法（長さ・容積・重さ）の単位について確認する。 ・度量衡・外国貨幣の換算方法について理解が難しい生徒に対して配慮する。 ・全体を通して検定合格を目標にするあまりこの単元に時間をかけすぎることに注意する。	
関心・意欲・態度	・売買に関する計算に関心を持ち自ら進んで実習に取り組んでいるか。	

3　授業の展開例

(1) 売買取引の手順

導　入　　店舗にて商品購入をする際、販売員とどのような会話・動作をしているか具体的に挙げさせる。(教科書・筆記用具等を商品に見立てて生徒に模擬実践をさせる。)

展　開　　①　売買取引の流れを確認する。

②　場面ごとに区切って必要とされる帳票を確認する。

陳列棚にある商品について客が販売員に質問する　　・見本請求状

（知識・理解） ・売買取引の手順に関する基礎的・基本的な	・売買取引の手順を自ら組み立てることができ、実際に取引をする	・売買取引の手順の組み立て方を理解しており、実際に取引をする	・売買取引の手順を組み立てることに手助けが必要であり、実際に

(2) 代金決済の方法

身に付け、日常生活に活用できる。	き、実際に取引をすることができる。	り、実際に取引をすることができる。	必要であり、実際に取引をすることが不安である。

(3) 電子商取引

・電子商取引推進協議会のＨＰ(http://ecom.or.jp)に電子商取引について易しく解説している。
・日本起業家協会のＨＰ（http://www.jea.or.jp）に起業方法について易しく解説している。
・西条市産業情報支援センター（http://www.saijo-sics.co.jp）に起業支援のシステムがある。月～金まで施設見学もできる。

【評価の観点】

具体的評価目標	A	B	C
（関心・意欲・態度） ・電子商取引に関心をもち、自ら進んでまとめたり確認したりしようとする。	・電子商取引における諸活動の意義や役割について関心を持ち、自らまとめ調べようとす	・電子商取引における諸活動の意義や役割について、まとめたり調べようとしたりする。	・電子商取引における諸活動の意義や役割について関心が薄く、まとめたり調べようとし

③統計資料（相手に伝える）として適切な表現方法はどれか話し合う。
④利息の計算方法について理解させる。その際、元金・元利合計の用語も教える。
⑤問題演習を行う。

まとめ　・割合について理解できたか確認する。
・割合の表現について理解できたか確認する。

【評価の観点】

具体的評価目標	A	B	C
（関心・意欲・態度） ・割合について関心を持ち、自ら進んでまとめたり確認したりしようとする。	・割合について関心を持ち、積極的に演習に取り組み、自らまとめ調べようとする。	・割合について関心を持ち演習にもまじめに取り組み、まとめたり調べようとしたりする。	・割合について関心が薄く、演習にも消極的でまとめたり調べようとしない。
（思考・判断） ・割合について様々な角度から主体的かつ客観的に考察しようとする。	・ビジネスの諸活動における割合の意義や役割について、様々な角度から主体的に考察している。	・ビジネスの諸活動における割合の意義や役割について、様々な角度から考察している。	・ビジネスの諸活動における割合の意義や役割について、考察しようとしない。
（技能・表現） ・割合について様々な資料を選択して活用し、その結果を適切に表現できている。	・割合について理解ができており、表現方法を的確に選択できる。	・割合について理解ができており、表現方法を選択できる。	・割合についての理解に乏しく、表現方法選択にも手助けが必要である。
（知識・理解） ・割合についての基礎的・基本的な知識を身に付け、日常生活に活	・割合について理解ができており、問題演習も積極的に自ら進んで	・割合について理解が進んでおり、問題演習も積極的に行い、正確	・割合についての理解に手助けが必要であり、問題演習の取り組

・計算方法が理解できたか確認する。

【評価の観点】

具体的評価目標	A	B	C
（関心・意欲・態度） ・数量と代価に関心をもち、自ら進んでまとめたり確認したりしようとする。	・ビジネスの諸活動における数量と代価について関心を持ち、自ら積極的にまとめ調べようとする。	・ビジネスの諸活動における数量と代価についてまとめたり調べようとしたりする。	・ビジネスの諸活動における数量と代価について関心が薄く、まとめたり調べようとしない。
（思考・判断） ・数量と代価について様々な角度から主体的かつ客観的に考察しようとする。	・数量と代価について、様々な角度から主体的に考察し、建・建値を的確に選択できる。	・数量と代価について、様々な角度から考察し、建・建値を選択できる。	・数量と代価について、考察しようとしない。また、建・建値の選択に手助けが必要である。
（技能・表現） ・数量と代価について様々な資料を選択して活用し、その結果を適切に表現できている。	・数量と代価についての計算が正しくできており、表現方法も的確に選択できる。	・数量と代価についての計算ができており、表現方法も正しく選択できる。	・数量と代価についての理解に乏しく、表現方法も手助けが必要である。
（知識・理解） ・数量と代価に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、日常生活に活用できる。	・数量と代価について理解ができており、問題演習も自ら積極的に取り組む。	・数量と代価について理解が進んでおり、問題演習も積極的に取り組む。	・数量と代価についての理解に手助けが必要であり、問題演習も不安である。

(6) 仕入原価と売価（販売価格）

導　入　　簿記で習った商品売買取引の仕訳を思い出させる。（簿記で学習していない場合は商品を仕入れる際にかかる運賃や保険料はどうなるかを考えさせる。）

展　開　　①仕入諸掛、値入率などの用語を理解させ、売価の構成を図示する。

②新聞折り込み広告から適当な商品を選び、それを実際に購入したときにレジに支払う金額を計算する。

例　平常価格1,280円のサンダルを３割引で購入

1,280 円×0.7×1.05=940.8 円　（円未満は切り捨てることを教える。）

③予定売価及び消費税込みの値段は割増しの、実販売価格は割引の計算であることに気付かせる。

まとめ　　・仕入原価と売価について理解できたか確認する。

・仕入原価および売価を正しく計算できたか確認する。

【評価の観点】

具体的評価目標	A	B	C
（関心・意欲・態度） ・仕入原価と売価につ いて関心を持ち、自ら	・仕入原価と売価につ いて関心を持ち、積極	・仕入原価と売価につ いて関心を持ち演習に	・仕入原価と売価につ いて関心が薄く、演習

なるか計算させる。（手数料は考えないものとする。）

まとめ　・外国貨幣の通貨単位を理解したか確認する。
・外国貨幣の換算方法を理解したか確認する。

【評価の観点】

具体的評価目標	A	B	C
（関心・意欲・態度） ・外国貨幣について関心を持ち、自ら進んでまとめたり確認したりしようとする。	・外国貨幣について関心を持ち、自ら積極的にまとめ調べようとする。	・外国貨幣について関心を持ち、まとめたり調べようとしたりする。	・外国貨幣について関心が薄く、まとめたり調べることに消極的である。
（思考・判断） ・外国貨幣について様々な角度から主体的かつ客観的に考察しよ	・ビジネスの諸活動における外国貨幣の役割について、様々な角度	・ビジネスの諸活動における外国貨幣の役割について、様々な角度	・ビジネスの諸活動における外国貨幣の役割について考察すること